

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：FluoroDye DNA Fluorescent Loading Dye (Green,6X)
製品番号：DL5000, DL5001 (メーカー略号: SMO)
構成品名：FluoroDye DNA Fluorescent Loading Dye (Green,6X)
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(腎臓)

GHSラベル要素



注意喚起語:警告

危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(腎臓)

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
エチレンジアミン四酢酸	1.7	60-00-4	2-1263
グリセロール	60	56-81-5	2-242

上記以外の成分：Xylene cyanol FF, Bromophenol blue, Orange G, Tris-HCl

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

エチレンジアミン四酢酸

4. 応急措置

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 刺激や呼吸器系にアレルギーが生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- 皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。
- 長期ばく露で刺激が起こった場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

- 水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

- データなし

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。
- 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

- 下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

- エアロゾルの生成を避ける。

安全取扱注意事項

- 取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

- 20°Cで保存すること。光を避けること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：濃い緑色

臭い：無臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：105℃

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：8.0

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：約1.1g/cm³ (20℃)

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の実験条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、火気

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸)

rat LD50 > 2000mg/kg (EU-RAR 49, 2004)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸)

ラビット 8日後に症状消失 (EU-RAR 49, 2004)

呼吸器感受性又は皮膚感受性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸)

cat. 2; Teratogenic 12th, 2007

催奇形性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸)

腎臓 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14, 2007)

誤えん有害性：データなし

潜在的な健康への影響：吸入によりアレルギー反応を起こすおそれがある。

反復摂取または過剰摂取により、消化管に刺激を与えるおそれがある。

長時間のばく露は軽度の皮膚刺激及び眼刺激を引き起こすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸)

魚類 (ブルーギル) LC50=41mg/L/96hr (EURAR, 2005)

水溶解度

(エチレンジアミン四酢酸)

非常に溶けにくい (0.05 g/100 ml, 20°C) (ICSC, 2008)

(グリセロール)

混和する (ICSC, 2006)

残留性・分解性

[成分データ]

(エチレンジアミン四酢酸)
BODによる分解度:0% (既存点検)
生体蓄積性
[成分データ]
(エチレンジアミン四酢酸)
BCF=123 (Check & Review, Japan)
(グリセロール)
log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの
防止を確実にを行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類) グリセロール

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険/有害物
エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)
名称等を通知すべき危険/有害物
エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法
第1種指定化学物質
エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩(1.7%)[エチレンジアミン四酢酸(1.7%)]
消防法：非該当
化審法
優先評価化学物質
エチレンジアミン四酢酸(通し番号36 人健康影響/生態影響)
大気汚染防止法
有害大気汚染物質
エチレンジアミン四酢酸

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。